

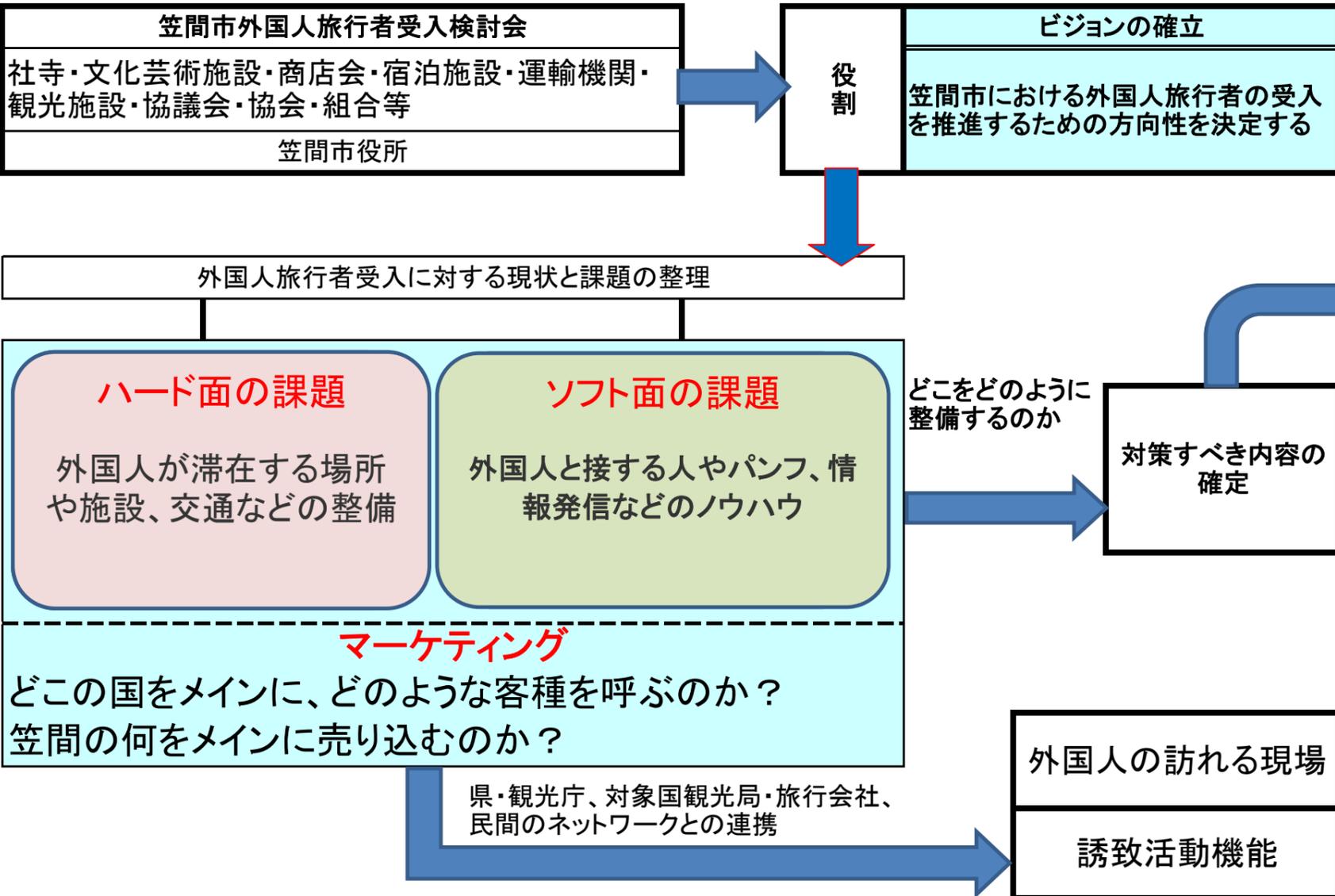
笠間市外国人旅行者受入検討会 スキーム

目的 なぜ、外国人旅行者受入整備が必要なのか？

笠間市の観光は、イベントやまつりを実施することで交流人口を拡大してきました。
 しかし、近年、多発する自然災害などに加え、不安定な経済、人口減少、少子高齢化社会を迎える中、観光の地域間競争も激化し、今後の観光誘客における悲観的要素が高まっており、先細り傾向に対応する新たな交流人口拡大策が必要と考えられます。
 国では、海外へのプロモーションや外国人受入整備を強化し外国人の交流人口を拡大する施策を打ち出しています。この結果昨年(平成25年)には、外国人旅行者数が1000万人を突破しました。また、「和食」がユネスコ無形文化遺産登録され、2020年の東京オリンピック・パラリンピックの誘致も決定し、外国人を対象にした観光振興の基調は強いものがあります。
 この様な背景を踏まえ、笠間市観光振興の将来を見通す時、国内観光客誘致強化と共に、外国人の受入態勢を整え国の内外を問わず来訪者が快適に滞在できる観光地を目指すことで交流人口の拡大を図ってゆきたいと考えます。

スケジュール(目安)

第1ステージ	4/18	第1回検討会開催
	事業趣旨、全体計画説明	
	5/下旬	第2回検討会開催
	現状の課題抽出	
	6/下旬 ~7/中旬	先進地視察 成田市(未定)
第1ステージ	7/下旬~	第3回検討会開催
	検討会・先進地視察を基にビジョンの確立	
第2ステージ	整備内容の調査	
第3ステージ	整備着手	



民間と市役所の協働